

旧滝野町区域のみなさまへ

平成19年4月から、旧滝野町区域でごみの分け方・出し方が大きく変わります。

これは、年々増え続けているごみを減らすためです。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

① 容器包装プラを分別してください。
② つぎのごみは指定袋(有料)になります。
可燃ごみ………黄色の指定袋
容器包装プラ……透明の指定袋
ペットボトル……透明の指定袋
容器包装プラとペットボトルは兼用袋です。ただし、容器包装プラとペットボトルは別々の袋に入れることとなります。
③ ペットボトルの収集日や持出場所が変わります。金属類、ビン類(3色)、その他の不燃物類は従来どおりです。

北播磨清掃事務組合 みどり園

家庭ごみ有料化とごみの新たな分別・持ち出し方の変更

変更は、次の3点です

1 指定収集袋(有料)制を導入します。

平成19年4月から指定ごみ袋を使用してください(有料)

指定ごみ袋に入れて出していただかないと回収いたしません。これは、みなさんから排出されるごみの量に応じた負担や、環境問題にもっと関心を持っていただくためです。

指定ごみ袋は、半透明になります。これは、中身が見えることによる分別意識の向上や物を捨てることへの抑止に効果があります。

なお、指定ごみ袋の販売開始は平成19年3月からです。販売店は、決まり次第お知らせします。

指定ごみ袋の価格と容量	可燃ごみ用指定袋<黄色>	ペットボトル容器包装プラ用指定袋<透明>
	(大) 45リットル 350円	(大) 45リットル 250円
	(中) 30リットル 250円	(中) 30リットル 150円
	(小) 20リットル 150円	

価格は1セット(10枚)のものです。



容器包装プラとはなんですか?

食品や日用品を買ったときに使われているプラスチック製の器、包み、袋などのことで、中身の商品を消費または分離した場合、不用となるものをいいます。

2 リサイクルの推進のため、容器包装プラスチックの分別収集を始めます。

容器包装プラスチックを分別してください。

今まで可燃ごみで出されていたごみの中から、再資源化できる「容器包装プラスチック」を分別して出してください。焼却処理されるのではなく、ごみの減量と資源の有効利用を進めることができます。

3 ペットボトルの出し方が変わります。

持ち出し場所が、可燃ごみステーションに変わります。

透明の指定ごみ袋に入れて出してください。なお、従来の回収容器は撤去します。

今回のごみの分け方・出し方の変更について、次の日程で説明会を開催します。みなさん、ぜひご参加ください。

日	月	火	水	木	金	土
1月21日	22 光明寺	23 上滝野 1~11組	24 上滝野 12~22組	25 下滝野	26 高岡	27
28	29 新町	30 北野	31 滝野団地	2月1日 穂積	2 稲尾	3
4	5 曾我	6 多井田	7 桜台	8 河高	9	10

参加者には指定ごみ袋(平成19年4月から導入)を進呈します。開催場所は各公民館等で、時間は午後7時30分からです。

生活課からのお願いです

ごみの減量にご協力ください

地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題が深刻化しています。このような環境問題について、みなさんにも関心を持っていただくことが大切です。生活課では、「私たち自身にとって住みよいまち」をめざして、将来にわたる環境問題に取り組んでいます。増え続けるごみを減らし多くの資源を回収するために、家庭では一体どんなことができるのでしょうか。

買い物の時から始められます。

賢い買い物にチャレンジ

身の回りを見ると、使い捨ての商品が意外に多くありませんか。

シャンプー、液体洗剤などの容器をごみとして捨てていませんか。詰め替え用の商品を使うことで、ごみ減量化が可能です。詰め替え用の「中身を買う」。積極的にそういった買い物をしましょう。

また、買い物の時の「レジ袋」も使い捨て商品の象徴です。買い物袋を持参することは、誰でも手軽に出来る有効な減量化対策です。

「ごみ」として出さないことです。

リサイクルにチャレンジ

「資源ごみ回収」よりも「廃品回収」の方が馴染み深いかもかもしれません。

今では使えなくなった品物や、役に立たなくて不用になった「廃品」を回収するのではなく、「資源ごみ」として回収することにより、製品に役立つ素材となります。

ごみが新たな資源となることで、ごみの減量と資源の有効利用を進め、循環型社会が実現できます。

各種団体や地域で、資源ごみの回収を実施してみませんか。

加東市では、資源ごみの集団回収を行うことで奨励金を受けることができます。

団体や、地域ぐるみで資源ごみの回収を積極的に行っていただくことで、リサイクルに対し意識の向上を図ることを目的としています。

店頭回収を積極的に利用しましょう。

食品トレイ、アルミ缶、牛乳パック、ペットボトルなどの店頭回収を行っているお店もあります。それらはすべてリサイクルされます。

ごみとして捨てるのではなく、きれいに洗ってお店の回収ボックスに入れることで、再資源化され、さまざまな商品に有効利用されます。

正しく分別することから始められます。

ごみの出し方を考えよう

台所の生ごみは、水切りを十分に行うことで軽くなり、量もかなり減ります。「生ごみ処理機」を利用したり、畑に返すと更に効果的です。ごみの出し方を一人ひとりが少し考えるだけで相当の量が減ります。

生ごみ減量化処理機器購入の補助金を交付しています。

生ごみの減量化を推進するため、生ごみ減量化処理機器(以下「生ごみ処理機」)を設置する家庭に対し、補助金を交付しています。

対象者は加東市に住所を有し、原則として市内の生ごみ処理機器取扱業者から購入することが条件となります。また、生ごみ処理機の性能にも条件があります。

過去に旧社町、旧東条町で補助金を受けられた方や、加東市で補助を受けた方が買い替えをする場合は、対象になりませんのでご注意ください。

資源ごみを集団で回収すれば奨励金がもらえるの?

ごみの減量化及び資源の有効利用ならびにごみのリサイクル意識の向上を図るため、資源ごみの回収を実施する団体などに対し奨励金を交付します。

紙類、布類、金属類、リターナル瓶などを、各種団体の構成員が回収することで、奨励金を受け取ることができる制度です。

奨励金は、集団回収した実績量によって算出されます。